

かわさき水ビジネスネットワーク 2015 年度総会次第

日 時 2015 年 7 月 14 日 (火)  
16 時 00 分～17 時 30 分  
会 場 川崎商工会議所 2 階会議室 1～4

1 開会

2 小泉会長（首都大学東京 都市環境学部 特任教授）挨拶

3 福田特別顧問（川崎市長）挨拶

4 協力団体等紹介

5 議事

- (1) かわさき水ビジネスネットワークの活動報告について
- (2) かわさき水ビジネスネットワークの活動計画について
- (3) その他

6 プレゼンテーション

- (1) 「活動事例発表-ベトナム・バリアブンタウ省調査報告」  
オリジナル設計株式会社 設計計画本部部長代理兼水道課課長  
鈴木 真介 氏
- (2) 「かわさきグリーンイノベーションクラスター」  
川崎市経済労働局 国際経済推進室担当課長  
南 誠 氏
- (3) 「JICAの民間提案型事業について」  
独立行政法人国際協力機構 民間連携事業部次長  
前原 充宏 氏

7 閉会

## かわさき水ビジネスネットワーク 2015 年度総会 摘録

### 1 開会

(司会) : かわさき水ビジネスネットワーク 2015 年度総会の開会宣言

### 2 小泉会長 (首都大学東京 都市環境学部 特任教授) 挨拶

(小泉会長) : 2015 年度総会開催にあたっての挨拶

### 3 福田特別顧問 (川崎市長) 挨拶

(福田特別顧問) : 2015 年度総会開催にあたっての挨拶

### 4 協力団体、オブザーバー紹介

(司会) : 協力団体、オブザーバーの紹介

### 5 議事

小泉会長が以下の議事を進行した。

#### (1) かわさき水ビジネスネットワークの活動報告について

(事務局) : 資料 1 「かわさき水ビジネスネットワーク 2014 年度の活動報告について」  
を用いて説明と報告を実施。

<質疑・意見なし>

#### (2) かわさき水ビジネスネットワークの活動計画について

(事務局) : 資料 2 「かわさき水ビジネスネットワーク 2015 年度の活動計画について」  
を用いて説明。

<質疑・意見なし>

(小泉会長) : 3 年前、かわさき水ビジネスネットワークの設立時に、水道や下水道を入り口にして、廃棄物処理など環境分野全体の様々な課題に協力していくことも必要であると発言した記憶がある。今回、川崎市が立ち上げたかわさきグリーンイノベーションクラスターにかわBizネットも加入したことで、ようやくその体制が整ったものと思う。今後、相互の効果的な連携に期待したい。

また、2015 年度の活動計画として最後にレビューの話があったが、如何なる活動でもどこかの時点で過去を振り返り、検証を行うということはとても大切であり、今後の取組を考える上で非常に有意義な事だと思うので、手法などについてしっかりと検討し、今後のかわBizネットのますますの活性化につながる良いレビューを是非とも行ってほしい。

<出席者の拍手による採決を行い、かわBizネットの活動を原案のとおり進めることを決定>

(3) その他

議事なし

<議事の終了>

6 プレゼンテーション

(1) 「活動事例発表-ベトナム・バリアブントウ省調査報告」

(オリジナル設計株式会社 設計計画本部部长代理兼水道課課長 鈴木 真介 氏)

(鈴木氏): 資料3「活動事例発表-ベトナム・バリアブントウ省調査報告」を用いて説明。

(2) 「かわさきグリーンイノベーションクラスター」

(川崎市経済労働局 国際経済推進室担当課長 南 誠 氏)

(南氏): 資料4「かわさきグリーンイノベーションクラスター」を用いて説明

(3) 「JICAの民間提案型事業について」

(独立行政法人国際協力機構 民間連携事業部次長 前原 充宏 氏)

(前原氏): 資料5「JICAの民間提案型事業について」を用いて説明

(4) その他

国立研究開発法人産業技術総合研究所 鳥村総括研究主幹より、シンポジウム(水資源の現状と循環利用のための技術展望)の予定について情報提供

7 閉会

(飛弾川崎市上下水道事業管理者) 閉会の挨拶

平成27年10月29日

報道発表資料

## かわさき水ビジネスネットワーク会員による ベトナム国バリア・ブントウ省における下水道調査業務の採択について

本市が設立した「かわさき水ビジネスネットワーク」(かわBizネット)の**会員であるオリジナル設計株式会社、JFEエンジニアリング株式会社**が、国土交通省の本邦下水道技術普及方策検討業務を受注しました。受注後の協議により、これまでのかわBizネットの活動を通じて、川崎市が参加して提案したベトナム国バリア・ブントウ省コン・ダオ県における調査が決定しましたので、この度お知らせします。今後、同地域の水環境改善に向けて、官民連携により調査を進めてまいります。

### ■ 経緯

- H26.02 かわBizネットが、「バリア・ブントウ省セミナー」を開催。バリア・ブントウ省訪問団と会員企業が参加し、同省の水環境について情報交換。
- H26.05 及び 08 かわBizネットが、二次にわたり「バリア・ブントウ省官民共同ニーズ調査」を実施し、川崎市と会員企業がバリア・ブントウ省を訪問。
- H26.10～H27.03 厚生労働省の採択を受け、「平成26年度(第二期)水道分野海外水ビジネス官民連携型案件発掘形成事業」として、会員企業と川崎市がコン・ダオ県の水道に関する調査を実施。
- H27.10 国土交通省の本邦下水道技術普及方策検討業務を会員企業が受注。協議により、川崎市が参加するコン・ダオ県における下水道整備に向けた調査が決定。

### ■ 調査参加者

オリジナル設計株式会社、JFEエンジニアリング株式会社、川崎市上下水道局

### ■ 調査背景・内容

- 豊かな自然や貴重な生態系が残るバリア・ブントウ省コン・ダオ県(群島)は、今後、リゾート開発等に伴い汚水量の増加が見込まれるものの、現在は公共下水道が整備されておらず、汚水は建物地下のセプティック・タンクで処理し地下浸透、生活雑排水は雨水と共に海へ放流されている。
- 現地の実情を踏まえた下水道整備案を検討し、日本の優れた下水道技術の普及方策を検討する。



### ■ 調査期間

平成27年10月～平成28年3月

### ■ 本市の協力内容

これまでのバリア・ブントウ省での調査結果や、本市上下水道の事業運営の技術・ノウハウを活かし、主に下水道分野の政策・技術面でアドバイスを行います。

川崎市上下水道局経営管理部経営企画課  
電話 044-200-3739  
FAX 044-200-3982

平成27年8月26日

報道発表資料

## 環境省 JCM 調査事業に 2 事業採択されました ～ ヤンゴン市（ミャンマー連邦共和国）、バンドン市（インドネシア共和国）の 低炭素化支援プロジェクトを実施します ～

この度、環境省の「アジアの低炭素社会実現のための JCM 案件形成可能性調査」\*において、ヤンゴン市（ミャンマー連邦共和国）及びバンドン市（インドネシア共和国）の低炭素化を支援するプロジェクトが採択されました。

今回の採択により、本市の公害克服の経験・行政ノウハウ、かわさきグリーンイノベーションクラスター\*会員企業のネットワーク・環境技術などを活用し、両市の低炭素化に貢献するとともに、クラスター会員企業の海外ビジネス展開に寄与することを期待して、今年度は案件形成のための基礎調査及び事業実施可能性調査を実施し、平成 28 年度以降の事業化を目指します。

### <今回採択された事業>

- (1)「ヤンゴン市における都市間連携による JCM 案件形成可能性調査事業」(詳細は別紙 1 を参照)

#### 【事業概要】

開発が進むヤンゴン市の低炭素化施策を支援するとともに、JCM 事業の案件形成を推進する。

- (2)「バンドン市・川崎市の都市間連携による低炭素都市形成支援事業：二国間クレジット事業を用いた商業施設におけるエネルギー管理システム（EMS）導入」(詳細は別紙 2 を参照)

#### 【事業概要】

バンドン市の商業施設に太陽光発電等各種再エネ・省エネ設備を導入し、省エネ効果を高めたエネルギー管理システム導入を推進する。

※アジアの低炭素社会実現のための JCM 案件形成可能性調査：

JCM (Joint Crediting Mechanism) は、日本国が推進する二国間クレジット制度であり、途上国への温室効果ガス削減技術等の普及や対策を通じて実現した温室効果ガスの排出削減・吸収における日本の貢献を定量的に評価し、日本の排出削減目標の達成に活用するもの。本調査事業は、JCM クレジット獲得を目指し、低炭素社会形成のためのノウハウを有する本邦自治体が都市間連携に基づき、連携している都市・地域において多岐に渡る分野で温室効果ガス削減が見込め、面的な展開や継続的な案件形成を通じて「都市まるごと」低炭素社会構築を目指す事業。

※かわさきグリーンイノベーションクラスター：

平成 26 年 5 月に策定した「川崎市グリーン・イノベーション推進方針」に基づき、平成 27 年 4 月に設立された「環境技術・環境産業の振興」と「環境技術による国際貢献」を目指すネットワーク。

#### 問合せ先：

- (1) ヤンゴン市（ミャンマー）案件について  
経済労働局 国際経済推進室（担当：南、深堀、斉藤）  
TEL: 044-200-3213
- (2) バンドン市（インドネシア）案件について  
環境局 環境総合研究所 都市環境課（担当：青木、荻原）  
TEL: 044-276-8964

## 【ヤンゴン市における都市間連携による JCM 案件形成可能性調査事業】

### 1 事業の対象地域

ミャンマー連邦共和国・ヤンゴン市

### 2 事業の対象分野

ESCO、低炭素都市づくり、再エネ、上下水道、相手国ニーズ把握

### 3 事業概要

川崎市が有する低炭素・循環型社会構築に係る実施経験を共有することを通じて、開発が進むヤンゴン市の低炭素社会実現に向けた施策への支援及び JCM 事業の案件形成を行う。また、川崎市が構築している「かわさきグリーンイノベーションクラスター」と連携し、同市の低炭素化に資する事業の発掘及び形成を図る。

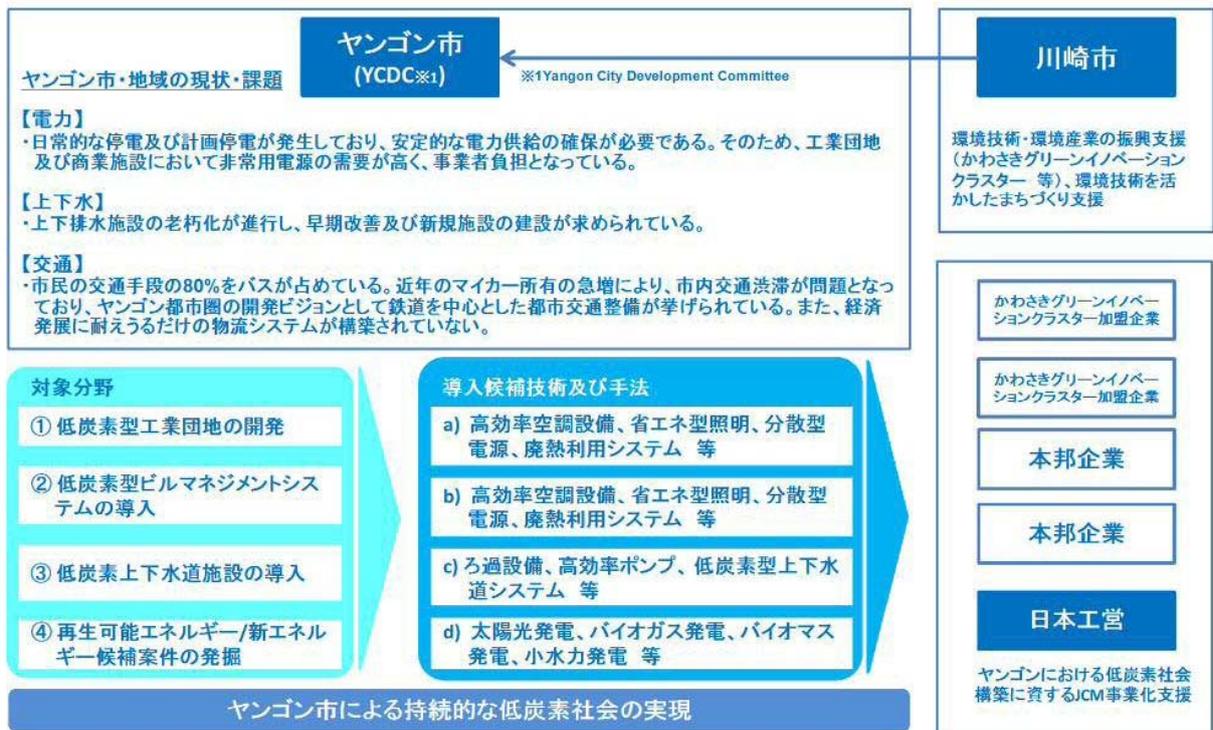
### 4 実施主体

日本工営（株）、荏原製作所（株）、荏原冷熱システム（株）、ナノフュエル（株）、（株）クールジャパン、川崎市（経済労働局）

### 5 実施予定期間

平成 27 年 9 月～平成 28 年 3 月

### 6 実施体制等



## 【バンドン市・川崎市の都市間連携による低炭素都市形成支援事業】

### 1 事業の対象地域

インドネシア共和国・バンドン市

### 2 事業の対象分野

再エネ、低炭素都市づくり

### 3 事業概要

バンドン市の商業施設に太陽光発電等各種再エネ・省エネ設備を導入し、省エネ効果を高めたエネルギー管理システム導入を推進する。導入にあたっては、電力ロスを削減するため、市内企業の直流給電技術の活用など、省エネ効果を高めたエネルギー管理システムを導入することで、石炭火力発電由来の電力の利用代替を図る。

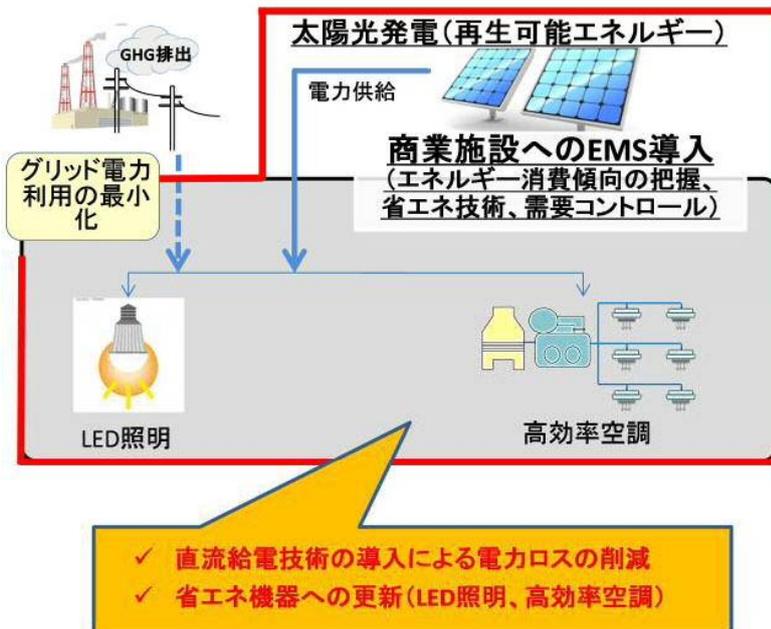
### 4 実施主体

(公財) 地球環境戦略研究機関 (IGES)、(株) オリエンタルコンサルタンツグローバル、東京整流器 (株) : 川崎市内企業、川崎市 (環境総合研究所)

### 5 実施予定期間

平成27年9月～平成28年3月

### 6 事業のイメージ



**JICA「ラオス水道公社事業管理能力向上プロジェクト(Project MaWaSU)」**  
**第3回国際セミナーへの参加者募集**

かわさき水ビジネスネットワーク事務局

JICA の Project MaWaSU が主催する本セミナーは、2013 年から年 1 回開催しており、ラオスの水道事情やプロジェクトの進捗状況などを共有する場として活用されてきました。3 回目の開催となる今回は、開催目的の一つとして初めてラオス国水道セクターと企業とのビジネスマッチングを掲げています。2012 年から本プロジェクトに参画している川崎市では、本セミナーの場を活用して、かわBizネットを PR するとともに会員企業の皆様の製品・技術等を紹介したいと考え、講演枠を設定させていただきました。会員の皆様におかれましては、ラオス国水道関係者が一同に会するこの絶好の機会を是非ご活用していただきたいと思います。

ラオス国における事業展開をお考えの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

- 1 目的 プロジェクト活動成果の紹介、ラオス国水道セクターと協力企業とのマッチング等を目的とする
- 2 時期 2016 年 1 月 21 日(木)、22 日(金) **20 日(水)、21 日(木)** [別紙参照]
- 3 場所 ラオス国ビエンチャン市
- 4 内容
  - 1 月 21 日 **20 日** AM: 来賓あいさつ、基調講演(さいたま市水道局・川崎市上下水道局)
  - 1 月 21 日 **20 日** PM: プロジェクト活動成果の紹介 等
  - 1 月 22 日 **21 日** AM: ラオス国および水道公社の現状と課題 等
  - 1 月 22 日 **21 日** PM: 施設見学(チナイモ浄水場・チナイモトレーニングセンター)
  - ※ポスターセッションはセミナー会場及びチナイモトレーニングセンターで実施予定
- 5 かわBizネット会員の参加メリット
  - (1) 川崎市上下水道局の基調講演枠でショートプレゼンによる企業PRの機会が得られる
  - (2) ポスターセッション(ポスター・製品等の掲示、パンフレットの配布)の機会が得られる
  - (3) ラオスの水道事情・ニーズが把握できる
- 6 参加者[予定]
 

在ラオス日本大使館、JICA ラオス事務所、JICA 本部、さいたま市水道局、埼玉県企業局、川崎市上下水道局、横浜市水道局、京都市上下水道局、日本企業、ラオス国公共事業運輸省、ラオス国内機関(公共事業運輸省・水道公社)約 65 名、ラオス国各県水道公社(代表 1 名×15 公社)15 名、ラオス国各県公共事業運輸局(代表 1 名×18 県都)18 名、カンボジア(JICA プロジェクト)、インドネシア、東チモール、タイ、ベトナム、ミャンマー代表者他
- 7 費用 無料(ただし、現地への渡航費用や現地滞在費等は自己負担)
- 8 お問い合わせ・申込先(かわさき水ビジネスネットワーク事務局)

参加希望の方は、11 月 20 日(金)までに、下記アドレスへ申込書をご提出ください。

川崎市上下水道局経営管理部経営企画課[国際事業推進担当]山梨、升潟(担当)

TEL: 044-200-3739

FAX: 044-200-0000

E-mail: [masugata-d@city.kawasaki.jp](mailto:masugata-d@city.kawasaki.jp)

## JICA「ラオス水道公社事業管理能力向上プロジェクト(Project MaWaSU)」

## 第3回国際セミナー日程(案)

## ■2016年1月21日(木) 20日(水)

日程	内容	講演者(組織名)
8:30-9:00	受付	—
9:00-9:50	開会宣言	ラオス国公共事業運輸省 JICA ラオス事務所
	来賓あいさつ	調整中
9:50-10:10	Café Break <u>※ポスター等対応</u>	—
10:10-11:00	基調講演1「さいたま水道の今後の国際展開(仮題)」	さいたま市水道局
11:00-11:50	基調講演2「かわさき水ビジネスネットワークの活動(仮題)」 <u>※川崎市講演及び会員のショートプレゼン</u>	川崎市上下水道局
11:50-13:30	Lunch <u>※ポスター等対応</u>	—
13:30-15:10	MaWaSU プロジェクトからの発信	MaWaSU プロジェクト
	(プロジェクトの概要と戦略、PPPの現状と課題、水道事業ガイドライン)	ラオス国水道関係機関
15:10-15:30	Café Break <u>※ポスター等対応</u>	—
15:30-16:30	ラオス国地方水道の課題	ラオス国水道関係機関 ラオス国各水道公社
17:00-19:00	レセプション <u>※ポスター等対応</u>	—

## ■2016年1月22日(金) 21日(木)

日程	内容	講演者(組織名)
8:30-9:00	受付 <u>※ポスター等対応</u>	—
9:00-10:20	ラオス国水道公社のビジョン(ビエンチャン特別市、ルアンプラバン、カムアン)	ラオス国各水道公社
10:20-10:40	Café Break <u>※ポスター等対応</u>	—
10:40-11:00	無収水管理対策の現状と課題	調整中
11:00-11:20	広報活動	調整中
11:20-12:00	Q&A	—
12:00-14:00	Lunch・移動(チナイモ浄水場)	—
14:00-15:30	視察見学(チナイモ浄水場・チナイモトレーニングセンター)	ビエンチャン特別市水道公社
	ビエンチャン特別市水道公社の概要説明	
15:30-16:30	<u>※ポスターセッション</u>	—

※ 日程は現時点での案ですので、変更する可能性があります。

※ 斜字箇所が主なPR時間となります。